

がん相談支援センターだより

第41号

令和6年6月発行

第1回東札幌病院地域・緩和ケアセミナー ～がん治療と緩和ケア～ を開催して

医療技術部部长 多田正人

緩和的放射線治療における 診療放射線技師の役割

緩和ケア病棟を増床しました

副看護部長 青田美穂

がん相談支援センターについて

東札幌病院ホームページ リニューアルのお知らせ

第1回東札幌病院地域・緩和ケアセ ～がん治療と緩和ケア～を開催して

4月18日に当院主催の第1回東札幌病院地域・緩和ケアセミナー～がん治療と緩和ケア～を開催いたしました。新型コロナ感染拡大以前は当院の患者さまを紹介してくださる医療機関や在宅関連の施設に直接お伺いして連携を深めてまいりましたが、感染拡大以降は中止し直接お会いする機会もなくなっていました。そこで今回、新型コロナ感染の5類移行も踏まえ、市内の在宅診療や訪問看護に関わる医療機関の皆様にご案内差し上げたところ22施設から50名ほどの医師・看護師・薬剤師・地域連携に関わる方々に出席していただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。当院からも医師・看護師・薬剤師・地域連携に関わるスタッフとして40数名が参加いたしました。

会を開くにあたり4月から病院長に就任した日下部院長から開催の挨拶、続いて当日出席した当院の医師全員の自己紹介を行った後セミナー開催の運びとなりました。

はじめに「当院のがん治療～緩和ケアについて」と題し、「在宅診療医療機関と当院の連携」～希望の場所最期を迎えられたか？～を緩和ケア科部長の町野医師から当院のバックベッド受入状況、待機日数、患者受入実績や転帰について2023年の報告がされました。また、副看護部長の青田看護師から在宅移行の症例

報告と5月からの面会制限の解除、6月に予定されている緩和ケア病棟増床について（58床→84床）、最後にがん相談支援センターの紹介を行いました。

続いて「在宅診療における緩和的放射線治療」について手稲溪仁会病院放射線治療科主任部長の堀 正和医師からご講演をいただきました。堀先生は3月まで当院の放射線科部長として2年間勤務されていたこともあり、当院での緩和的放射線治療のデータを示され、在宅療養からの放射線治療への連携や緩和ケアにおける放射線治療の必要性について下記の内容でお話しいただきました。

- 東札幌病院の放射線治療関連について
- 放射線治療の実績について
- 訪問診療をされている先生方よりご紹介をいただいた症例の供覧
- 最近の訪問診療と放射線治療について東札幌病院の体制について

セミナー終了後の懇談会には大勢の方に参加いただき、お互いの紹介や今後の在宅を含めた地域連携などの話で大変盛り上がりおられました。この誌面をお借りしあらためてお礼申し上げます。今後も年1回程度の開催を予定しております。その際は再びご参集のほどよろしくお願いいたします。

セミナー

医療技術部部長 多田 正人



講演時のようす

緩和的放射線治療における診療放射線技師の役割

当院は、2009年の秋に放射線治療が稼働開始となり15年が経過しました。

患者さまが放射線治療を受ける時には、カーボン製の硬い寝台天板の上に10～20分動かずに仰臥位で臥床し、また治療精度を上げるために固定具を使用する場合があります。

その中で緩和的放射線治療（疼痛や苦しさを和らげる目的の治療）を受けられる患者さまには、一定の体位を維持して頂くためにサポートが必要な状況が多々あります。主治医・看護師は、患者さまの病状を把握し疼痛や苦しさを薬剤コントロール（薬剤の種類、量、使用回数、使用時間など）して体位維持への協力を行い。放射線技師は、どのような体位ならば維持していただけるかを患者さまと相談し立案・実現を目指します。最終的には、多職種が各々の役割を果たしチームとして患者さまのサポートを行います。

緩和的放射線治療における放射線技師の役割である体位維持について、患者さまの状態に合わせながら如何にして立案・実現したのか、実例を挙げてご紹介させていただきます。

実 例

- 1 患者さまは痛みのため仰向けに寝ることが出来ず側臥位で行いました。発泡スチロールの小さな玉が入ったヨギボー（クッション）のようなバックロック（固定具）を使用しました。バックロックは、ふわふわのクッション状態から中の空気を抜くことで患者さまのボディーラインや背中を支えを形作って固める事が出来ます。同じ側臥位の姿勢を治療回数分再現し無事に完遂しました。

また、昨年6月からはX線写真を撮影し画像照合と寝台の6軸を1mm単位で自動補正するエグザクトラックと言う装置が導入され、短時間で高精度な治療を行えるようになりました。



- 2 臥位になると呼吸苦が出現する患者さまでしたが、座位であれば安定して維持することが出来るため、天板横から膝下をぶらんと垂らし背中側から腰椎への照射を行いました。



- 3 背中の皮膚を電子線と言う放射線で治療する場合は、うつ伏せで行うのが一般的ですが、患者さまは胸側にも病変がありうつ伏せは不可能だったため、天板上の固定具に前胸部を軽く着け立位で行いました。



東札幌病院で提供する緩和的放射線治療は、全体の7割以上（2023年度：全体301部位、緩和的230部位）を占めており、『痛みなどの理由で治療が受けられない患者さまを「0」にする』ことを常に目標として、日々様々なことにチャレンジしております。

緩和ケア病棟を増床しました

副看護部長 青田 美穂

当院は1983年4月に「医療の本質はやさしさにある」という理念のもと開設され、包括的がん医療と緩和ケアを医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・リハビリテーション・医療ソーシャルワーカー・ボランティアスタッフなどの多職種によるチームで実践してきました。1993年9月には道内初の緩和ケア病棟(PCU：パリアティブ・ケア・ユニット28床)の承認を受け、専門的な緩和ケアが提供できる体制が整いました。緩和ケア病棟では、多職種医療チームが痛みやその他の身体的な苦痛を和らげるとともに、患者さまやご家族の精神的なつらさ、その他の問題に対処できるよう取り組み、患者さまの価値観や生き甲斐などを大切に「その人らしく生き抜くこと」、クオリティ・オブ・ライフ(QOL：日々の生活の質、生命の質)を尊重した医療やケアの実践を続けています。

緩和ケア病棟には、札幌市内に限らず道内外の医療機関から患者さまをご紹介いただき、入院をお待たせ



▲院内デイケア(歌の会)のようす

してしまうことが増え、2009年9月の新棟増築時には新たに30床の緩和ケア病棟を開設しました。現在2つの緩和ケア病棟(計58床)では、1年間に約450～500名程度の患者さまを受け入れています。2020年には新型コロナウイルス感染症が流行し、緩和ケア病棟でも面会制限をせざるを得ない状況になりましたが、入院する患者さまが減少することはありませんでした。しかし、患者さまやご家族が楽しみとされていたロビーでのティータイム、季節の行事(夏祭り、鍋パーティ、クリスマス会など)、歌のコンサート、わんわんパークなどのボランティア活動はほぼ中止となりました。また、患者さまとご家族が心置きなく時間をとることができることができなかったこともあり、患者さまご家族はもとより、私たち医療者も言葉では表現し難い経験をしたと感じています。昨年5月に新型コロナウイルスが「5類」の位置づけとなり、面会や病室での付き添いの制限はなくなり、ボランティア活動も少しずつではありますが再開しています。毎月行われていたコスモスコンサート(歌・ピアノ・オカリナ)は約4年ぶりに開催となります。さらに、2つの緩和ケア病棟は現在も満床の状態が続いており、2009年同様に他の病院やご自宅、院内で入棟を待機する患者さまが増え、お待たせしている状況です。そのため、2024年6月から一般病床の一部を緩和ケア病床に変更し、緩和ケア病棟は西棟(28床)、東棟(28床)、中央棟(28床)の計84床になります。より多くの患者さまやご家族に専門的な緩和ケアを受けていただけるよう、職員一同お待ちしております。当院緩和ケア病棟に入院をご希望される際は、地域連携室までご連絡ください。



▲コスモスコンサートのようす

がん相談支援センターについて

がん相談支援センターは、地域連携室とMSW室で構成され、センター長の医師1名、看護師5名、医療ソーシャルワーカー（MSW）3名、ボランティアコーディネーター1名、事務2名が業務にあたっております。

医療機関や施設から、当院への入院に関するご相談は看護師が窓口となり調整に当たらせていただいております。MSWは、外来から入院中の患者さま・ご家族の方に対して、様々なご相談を受けております。



◆ 地域連携室

当院は「がん専門病院」として集学的治療から終末期医療まで行える病院であり、多くの方々に利用していただけるように、地域の医療、介護機関と連携しております。

がん患者さまの当院へのご紹介、シームレスな診療、フォローアップ、療養体制の構築を支援し、がん治療中、治療後、また、療養、終末期など様々なステージにおいて、患者さまが安心して治療、療養できる連携を目指しております。

また、地域の病院、診療所、施設の先生方と当院との機能分担の役割を果たし、双方の連携の橋渡しとなるよう、ご紹介患者さまに関わる様々な情報提供にも努めています。

【紹介患者の受け入れ方針】

- 1 東札幌病院は、根治的医療から終末期医療までの総合的ながん医療、および総合的な地域医療を提供することを基本としている
- 2 地域医療機関からの紹介患者には全て対応する
- 3 外来受診、入院については迅速に対応する
- 4 紹介患者の診療状況は、紹介元医療機関へ必ず結果を報告し連携を図る

◆ MSW室

療養中に生じた問題に対して、幅広くご相談を受けています。さまざまなご相談に対して、みなさまの気持ちに寄り添い、向き合いながら、“心を大切にする医療と療養生活”を支えていきます。

【主に対応しているご相談】

- 1 心理・社会的問題に関するご相談
- 2 緩和ケアに関するご相談
他の病院に入院・通院されている患者さま・ご家族で、当院へ転院をお考えになっている際のご相談をお受けしております。
- 3 経済的なことに関するご相談
当院では、身寄りがない方、家族がいても疎遠や遠方でサポートが受けられない方の金銭管理や日用品の買い物の代行などを行っています。
- 4 退院支援に関するご相談
- 5 社会制度の活用や申請に関する相談
- 6 グリーフケア（ご遺族に対するご相談）
当院で大切な方を亡くされた方へのケアを行っております。



東札幌病院ホームページ リニューアルのお知らせ

WEB SITE RENEWAL

2024年4月1日より 当院ホームページが新しくなりました

皆様がより見やすく、より快適にご利用できるホームページを目指し、デザイン・構成を一新しております。

メインメニューの「医療機関の方」から「各診療受診・ご紹介の流れ」を見ていただきますと、他医療機関からの患者さまのご紹介の流れが分かるページが表示されます。また、ホームページのヘッダーには常に地域連携室の電話・FAX番号が表示されますので、連絡先を探す負担を減らすことが出来ました。ぜひこの機会に新しいホームページをご覧ください。



▲トップページ



▲理事長挨拶のページ



▲がん相談支援センターのページ



当院では、他医療機関からのご紹介による患者受診受付を、がん相談支援センター地域連携室で承っております。

患者さまのご紹介

受診・検査・入院予約について

直通ダイヤル

TEL 011-817-5120 FAX 011-817-5130

予約・予約変更の電話受付時間 月曜～金曜9:00～17:00／土曜9:00～12:00

ご紹介の流れ

当院では、適切な説明のもとに、受診される方の意志が尊重され、最良の治療やケアが選択されるよう努力しております。患者さま・ご家族の皆様と緩和ケアの方針に齟齬が生れないよう、可能な限りご説明に関わる情報についてご提供いただきますようお願い申し上げます。

一般外来受診希望者のご紹介

セカンドオピニオン外来、
病をよく識る外来(病理相談)を除く

1 ご紹介元医療機関が 電話またはFAXを送信

 [診療予約(一般外来)申込票Word]
にて予約日時、患者受診科を決定します

2 東札幌病院地域連携室が ご紹介元医療機関にFAX

 ●東札幌病院受診予約票(Word)
●問診票(PDF)

3 ご紹介元医療機関が 患者さまへ書類をお渡し

 ●紹介状[診療情報提供書(投薬情報含む)]
●予約票 ●問診票

4 患者さまが 予約日時に外来受診

 ●保険証 ●紹介状
●予約票 ●問診票 などを持参

※診療予約(一般外来)申込票、東札幌病院受診予約票、外来問診票、外来外科(肛門科)問診票、外来外科(乳腺)問診票、外来歯科・歯科口腔外科問診票は、当院ホームページでダウンロードできます。

〈各種申込票・予約票・問診票ダウンロード〉
<https://www.hsh.or.jp/medical-personnel/>

緩和ケア目的での入院、 外来通院希望者のご紹介

1 ご紹介元医療機関が 電話にてご連絡

 まずはお電話ください。

2 東札幌病院地域連携室が 受診日を調整

 基本的に、ご相談のお電話をいただいた
際に調整をいたします。

3 ご紹介元医療機関が 当院へFAX送信

 ●診療情報提供書(処方内容含む)のコピー
●患者情報用紙または看護添書のコピー
●保険証のコピー

4 患者さまが予約日時に受診

 ●診療情報提供書(処方内容含む)の原本
●患者情報用紙または看護添書
●検査画像(直近のもの)および採血データ
●保険証原本 ●外来問診票を持参

※外来問診票は、「患者のみ受診」もしくは「患者と家族が受診」する場合は患者用の外来問診票を、「家族のみ受診」する場合は家族用の外来問診票をご持参ください。※入院・転院患者情報用紙、外来問診票(患者用・家族用)は当院ホームページでダウンロードできます。<https://www.hsh.or.jp/medical-personnel/>
※保険診療となります。診断群分類包括制度(DPC)の場合など、医事課あての連絡文書をお願いします。

関連施設のご紹介

厚別老人保健施設 ディ・グリーヌ
〒004-0007 札幌市厚別区厚別町下野幌38番18
TEL 011-898-5580 FAX 011-898-6760

訪問看護ステーション 東札幌
〒003-8585 札幌市白石区東札幌3条3丁目7番35
TEL 011-812-2600 FAX 011-812-2605

訪問看護ステーション みずほ
〒004-0053 札幌市厚別区厚別中央3条1丁目12番28号
長谷川第2ビル 2階
TEL 011-807-5855 FAX 011-807-5157

指定居宅介護支援事業所 東札幌
〒003-8585 札幌市白石区東札幌3条3丁目7番35
TEL 011-812-2500 FAX 011-812-2533

指定居宅介護支援事業所
ディ・グリーヌ
〒004-0053 札幌市厚別区厚別中央3条1丁目
12番28号 長谷川第2ビル 2階
TEL 011-807-5156 FAX 011-807-5157

札幌市白石区
第2地域包括支援センター
〒003-0003 札幌市白石区東札幌3条3丁目7番25
(株)シグナル 5階
TEL 011-837-6800 FAX 011-837-6801

介護予防センターもみじ台
〒004-0007 札幌市厚別区厚別町下野幌38番18
TEL 011-898-8660 FAX 011-898-6760

医療法人 東札幌病院

〒003-8585 札幌市白石区東札幌3条3丁目7番35
TEL 011-812-2311 FAX 011-823-9552

<https://www.hsh.or.jp>

がん相談支援センター
発行 TEL 011-817-5120(直通)
FAX 011-817-5130

発行責任者:医療法人東札幌病院 がん相談支援センター
編集責任者:病院長 日下部俊朗

